

バレーボール大会における感染防止ガイドライン

1 趣旨

本ガイドラインは新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とし、千葉県高体連バレーボール専門部が主催するバレーボール大会を実施するうえで、大会運営に関する留意事項を示したものであり、大会運営において大会運営者、選手及び関係者に周知・徹底する。

2 大会開催の指針

大会を開催するにあたり、「新型コロナウイルス感染症 学校における感染症対策ガイドライン(千葉県教育委員会)」、「新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた千葉県高等学校体育連盟主催大会開催指針(千葉県高等学校体育連盟)」、「大会運営ガイドライン(日本バレーボール協会)」に従い、安全な大会運営に取り組むこととする。

3 大会開催時の感染防止策

(1)大会会場に入場できる者

- ①大会会場に入場できる者(以下「入場者」という)は原則、大会役員、参加者(生徒、引率者、監督、コーチ)及び関係学校職員とする。ただし感染状況により、安全に大会を運営できないと判断した場合は、参加者のうち参加申込書に登録された選手最大18名、監督、コーチ、引率教員、マネージャー1名と制限する場合もある。
- ②観客については原則として入場を認めない。ただし、感染状況及び会場規模等を考慮し、感染防止対策が講じられる場合のみ人数を制限し入場を認める場合もある。

学校を会場とする場合(1会場)

コート数	1会場の チーム数	入場者	観客(保護者等)
1コート	4チーム	参加者の人数制限はなし	感染対策(4観客の入場)が可能な場合のみ認める
	8チーム		
2コート			入場を認めない

※ 学校を会場とする場合は、1会場1コートで8チームを原則とする。

- ・試合形式については、4チームごとに午前の部・午後の部と設定時間を設ける。
- ・控室は、1室1チームで設けることが望ましい。
- ・2コートで実施する場合は、観客の入場は認めない。

公営施設等を会場(バレーボールコート 3面規模以上)とする場合

コート数	1会場の チーム数	入場者	観客(保護者)	
1コート	4チーム	参加者の人数制限はなし	感染対策(4観客の入場)が可能な場合のみ認める	
	8チーム			
2コート	8チーム		参加者の人数制限はなし	入場者と観客の動線とゾーニングが設定可能な場合のみ認める。
	9チーム以上			

(2)大会会場

可能な限りの感染症対策をおこない、かつ3つの密を発生させないようにすること。試合方法についても試合順、午前の部・午後の部など工夫し、大会会場で複数のチーム同士(補助役員も含む)が接触する機会を可能な限り減らすこと。

ア 設定

- ①大会会場として使用する学校に偏りが無いこと。
- ②会場となる学校長の承諾を得ること。(観客の入場の有無を確認すること)
- ③大会会場校の試合が含まれており、会場校の顧問が「会場責任者」となること。

イ 受付

- ①関係者以外の大会会場への入場(学校においては校地内)を制限すること。
- ②試合設定時刻が指定されている場合、指定された時間前の会場への入場(学校においては校地内)は控える。ただし補助役員に指定されている場合は除く。
- ③入口には手指消毒剤を設置する。入場者のマスクの着用を確認し、検温をする。
- ④入口には感染予防の注意事項を掲示する。
- ⑤引率責任者は入場者の健康チェックシート及び参加確認書をまとめ、内容に不備・質問項目に問題がないかを必ず確認のうえ、感染対策チェックシートとともに健康観察係に提出する。

ウ 控室

- ①控室についてはチームごとに設定することが望ましいが、確保できない場合については、教室の場合は1控室について、同時に使用するチームは2チームまで、小体育館や格技館ではゾーンを設定し、同時に使用するチームは最大4チームまでとする。3密にならないように空間的制限と時間制限を設けるなど工夫する。
- ②控室には、「黙食」、「3密防止」等の張り紙をする。
- ③食事は会話を控え、向かい合っただけの食事は控える。食事後はその付近の消毒を各チームで行う。
- ④密閉空間にならないように常時換気をおこなう。
- ⑤複数の入場者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、

椅子等)はこまめに消毒する。

- ⑥ごみ箱は設置しない。ゴミは各チームが持ち帰るよう指導を徹底する。
- ⑦試合が終了したチームは速やかに控室より退去し、引率責任者または引率責任者の立会いの下、消毒作業をおこなう(異性の控室では、誤解を招くことのないように注意する)。また消毒作業が終了したことを会場責任者に報告する
- ⑧全試合が終了後、役員は使用場所(会場、トイレ、控室等)の消毒作業を実施する。

エ トイレ・洗面所

- ①学校施設では使用するトイレを指定する。
- ②ペーパータオルは使用しない。
- ③ハンドソープ(ポンプ型)を設置する。
- ④「手洗いは30秒以上」「マイタオルを使用すること」と掲示する。
- ⑤手洗いが難しい場合はアルコール等の手指消毒剤を用意する。
- ⑥「トイレの蓋を閉めて汚物を流してください」と表示する。
- ⑦複数の入場者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)はこまめに消毒する。

オ 競技

① 参加者及びチームの参加

- ・参加者数は大会ごとに本ガイドラインに基づき専門部で決定する。
- ・健康チェックシート及び参加確認書が提出され、内容に不備・質問項目に問題がある参加者の入場は認めない。
- ・陽性者及び濃厚接触者として出席停止になっている生徒の参加は認めない。
- ・試合当日にチーム関係者に発熱者や健康チェックシート及び参加確認書で問題がある選手を確認した場合、引率職員は管理職に報告し、チームの大会参加について校長の許可を確認する。
- ・二週に亘り大会が開催される場合、参加したチームは健康観察に努める。一週目に対戦した敗者チームから「陽性者」が出た場合、当該チームは速やかにバレーボール専門部に連絡する。その際に陽性者が出たチームと対戦した二週目の大会に参加するチームの出場については、参加者の感染状況及び健康状態等を観察し、関係機関、専門部と協議のうえ、当該チームの校長が判断する。

※大会参加については、県教育委員会の通知「新型コロナウイルス感染症の感染者が発生している県立学校における部活動の大会参加について」及び「教育活動の機会確保のためのPCR検査で陰性が確認された場合の県立学校における部活動の大会参加について」に準じる。

② 試合設定時刻

- ・観客の入場を認める場合や1コートに8チーム以上が参加するトーナメント方式では、3密を避けるために試合開始の設定時刻を設ける。

③ コート

- ・手指消毒剤を記録席に設置する。
- ・チームベンチは身体的距離が確保できるよう、1席分を開ける。ベンチエリアを2列にするなど通常ルールよりもベンチエリアを拡大して設置する。
- ・ウォームアップエリアについてはベンチ後方エリアに設置するなど、ソーシャルディスタンス確保の観点から可能な限りの広さを確保する。
- ・コートと同じフロアに観客スペースを設ける場合は、ソーシャルディスタンス(応援者の間隔をおおむね1 m～2 m)の確保に努める。
- ・大会会場において、換気の悪い密閉空間にならないように十分な喚起を行う必要がある。しかし、試合中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要がある場合は試合間に窓を開け外気を取り入れ等の換気を行う。また熱中症対策についても十分留意する。

④ 試合

- ・試合前に必ず消毒を行うこと。試合間は10分間の換気を行う(2コートの会場では両コートの試合が終了後)。その間に競技役員(審判員)はボール、ネットの白帯、記録席、筆記用具、線審のフラッグ、得点板、モップ等の試合で使用する備品類の消毒をおこなう。(チーム及び観客は会場に入れない)
- ・チームは試合開始時、終了後は競技役員の指示で移動する(試合終了後の換気及び消毒作業が終了し、競技委員の指示があるまで会場への入場はできない)。
- ・試合への出場選手以外は、チーム関係者全員がマスクを着用する。また、自身の感染リスクや他の選手に配慮してコート内の選手がマスクを着用してもかまわない。
- ・タオルの共有やドリンクの回し飲みは絶対に避ける。チーム内で出たゴミは必ず持ち帰り、試合終了後は、使用したベンチを引率職員が消毒する。
- ・試合前のコイントス時、キャプテンと審判のあいさつや試合前後の握手に関して、当面は一礼に変える形式とする。

⑤ 競技中の配慮事項の協力要請

競技中も選手、スタッフ同士の接触を減らすよう配慮する必要から、参加チームには事前に次の事項の協力を要請する。

- ・試合前の円陣や陣地での集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける。
- ・競技中のハイタッチは避け、腕のタッチにとどめる(できるだけ避けるように)。
- ・競技中は靴底を触らない。(シューズクリーナーの使用など)
- ・ベンチでは離れて座り、ウォームアップエリアでも密に気を付けて私語は慎む。
- ・タオル、水ボトル、アイシングパックなどの共用は禁止とする。
- ・試合終了後は、係の指示に従い速やかに退場する。会場内でのミーティングはおこなわない。

4 観客の入場

- ・観客の入場については、「3 大会開催時の感染防止策(1)大会会場に入場できる者」に従い専門部または地区で決定する。
- ・観客は家族または親権を有する者のみとし、チームごとに人数制限を設ける。入場の際には健康チェックシート及び参加確認書の提出を義務付ける。
- ・入口にて検温、健康チェックシート及び参加確認書の提出及び手指消毒をおこなう。
- ・感染者が発生した場合の影響範囲の限定、濃厚接触者の特定をしやすいことから、観客の動線とゾーニングを設計するよう努める。
※動線とゾーニングについては、選手と観客に対して別の出入り口を確保する。コートと観客席のギャラリーが同一フロアにないこと。移動通路、トイレなど選手と観客が共有するスペースがないことである。
- ・観客の会場の入退場については、参加者と同様に密にならないように移動をお願いする。連続試合を除き、当該チームの試合以外は試合間の換気時間も含め入館を認めない。
- ・観客のソーシャルディスタンス(間隔をおおむね1 m～2 m)の確保に努める。
- ・マスクの正しい着用を拒否したり、大声を出すなど感染症対策を守れない場合や本ガイドライン及び会場役員(係)の指示に従わない場合は、チーム関係者(引率責任者)を通じて当該観客の退場の指示をおこなう。
- ・観客の入場を許可する場合は、当該施設管理者の許可を得ること。また必要に応じて保健所等に事前連絡をする。

5 その他

(1) 生徒への指導

- ・大会会場への移動時に公共交通機関を利用する際は、マスクを着用し、会話を慎むよう指導する。
- ・帰宅途中の集団での飲食等は慎み、寄り道をせず、速やかに帰宅するよう指導する。

(2) 大会終了後、大会参加日を含め7日以内に新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した場合は、地区主任に通してバレーボール専門部に報告すること。

(3) 本ガイドラインは「新型コロナウイルス感染症 学校における感染症対策ガイドライン(千葉県教育委員会)」、「新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた千葉県高等学校体育連盟主催大会開催指針(千葉県高等学校体育連盟)」、「大会運営ガイドライン(日本バレーボール協会)」及び地域の感染状況及び感染防止対策の変更事項を確認・検証し、適宜改定をする。

令和3年6月 9日策定
令和3年8月18日改定
令和4年4月27日改定